



まじゆほ

学校教育目標 「心豊かな未来を創る 子どもの育成」

令和8年6月29日

小田原市立新玉小学校

1年生を迎える会 ～1年生となかよくなるう～

1年生が入学して2か月以上が過ぎ、学校生活にもだんだん慣れてきました。6月4日に「1年生を迎える会」を行いました。5月に1年生との交流を深め、なかよくするためにこの会を開くことについて代表委員会を開き、話し合いをもちました。

当日の司会は計画委員会の子どもたちです。5年生が1年生と入場し、はじめの言葉は3年生担当で、会がスタート。みんなで「さんぽ」を歌ったあとは1年生の紹介です。「名前を教えてください。」「好きな食べ物は何かですか。」と、インタビュー。困ったときにはもちろん6年生がそばで助けてあげます。その後は、じゃんけん列車で楽しく遊びました。おわりの言葉は2年生が担当し、最後は4年生と1年生が手をつないで退場しました。

1年生と楽しくなかよくなれるように全学年が力を合わせました。1年生のために…と考えた思いがあふれていました。最後まで温かく和やかで、とても気持ちのよい会でした。



じゃんけん列車で盛り上がりました。



～土曜参観での「教育漫才」発表～

6月20日「土曜参観」でブロックごとに「教育漫才」を発表しました。会場の雰囲気から、「あたたかな笑顔あふれる新玉小」を具現化させる手立ての一つとして取り組んだねらいが十分に達成できたのではないかと感じました。特に、取り組んで3年目を迎える高学年のペアやトリオは「新玉小のあるある」ネタや「地域のお祭り」ネタなど、バラエティーに富んだ内容が次々と登場し、台本の構成、表現力などが素晴らしく、積み重ねるところまで育つ！ということが保護者の方々にも伝わったのではないかと思います。



私が4年前に教頭として着任した年に当時の前校長と共に相模原市内で行われた大阪市大空小・初代校長である木村泰子先生とお会いできるセミナーに参加しました。そこで木村先生が「見えない学力」が高まれば「見える学力」も結果としてついてくる、と言われた言葉が今でも胸に響いています。「教育漫才」は「見えない学力」と言えるでしょう。しかし、この「見えない学力」は、教員が教え込むものではありません。「子どもたちの関係性」の中でつくられていくものなのかもしれません。私は、新玉小学校がいつでも誰もが安心して学べる場所であり、子どもたちのあたたかな笑い声があふれる学校であってほしい、と願っています。今回、土曜参観での子どもたちのはつらつとした姿を見て、今年度もこの取り組みを進めて本当によかった、と思っています。7月3日は全校児童で行う「教育漫才DAY」です。各ブロック代表による発表が楽しみです。

学校運営協議会委員の紹介

本年度も保護者、地域それぞれの立場から学校運営についてご示唆いただきたいと思います。第1回目の学校運営協議会は6月30日です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

- ・〇〇 〇〇様 (新玉小学校育成協議会長)
- ・〇〇〇〇〇様 (新玉地区連合自治会長)
- ・〇〇 〇〇様 (新玉小学校薬剤師)
- ・〇〇 〇〇様 (新玉小学校歴代 PTA 会長)
- ・〇〇 〇〇様 (新玉地区主任児童委員)
- ・〇〇 〇〇様 (新玉小学校 PTA 会長)
- ・〇〇 〇〇様 (新玉小学校 PTA 副会長)
- ・〇〇 〇〇様 (新玉小学校 PTA 副会長)
- ・〇〇〇〇〇様 (新玉地区連合子ども会長)
- ・(校長)・(教頭)・(教務)

